

造船業界

における

AI・ロボティクス

普及に向けたシンポジウム

※画像はAIによるイメージです

参加料
無料

2026

10/6 火

13:30 ~ 17:30

— 対象 —

- 造船・船用・海運関連企業の経営層や技術開発担当の方々
- ロボット導入・自動化に取り組む方々
- AI・ロボティクス関係企業（スタートアップを含む）の方々

会場参加

東京コンファレンスセンター・品川

〒108-0075

東京都港区港南 1-9-36 アレア品川 3F-5F

オンライン参加

Zoom ウェビナー

主催：国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所
株式会社日本能率協会コンサルティング（JMAC）

後援：国土交通省

セミナーの目的

現在、造船分野では人手不足への対応や生産性の向上が喫緊の課題となっており、AIやロボット技術を現場にどのように取り入れ、活用していくかが問われています。

国土交通省においては、「研究開発と Society5.0との橋渡しプログラム (BRIDGE)」の一環として、深刻な人手不足に対応し、我が国造船業の抜本的な生産性の向上や高度な技術力の継承を図るため、建造工程における自動化・省人化を実現する AI 造船ロボットの開発を推進しています。

本シンポジウムでは、上記 BRIDGE の一環として、AI・ロボット技術の活用事例や最新動向を共有するとともに、造船分野における将来像や今後の発展の方向性について展望します。

当日は、AI・ロボティクス分野の有識者による基調講演に加え、造船分野のみならず他産業における先進的な取組についてご紹介します。さらに、パネルディスカッションでは、AI・ロボット技術の実装に向けた課題や、次世代の造船所に求められる要素について、多様な視点から議論を深めます。

造船業界をはじめ、AI やロボット技術に関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム (調整中のため、変更の可能性がございます)

13:30	主催者挨拶・事業紹介		
	来賓挨拶 国土交通省 海事局 大臣官房技術審議官 今井 新 氏		
13:50	基調講演	Physical AIの発展とデータエコシステムのアプローチ 一般社団法人AIロボット協会 (AIRoA) 早稲田大学基幹理工学部表現工学科 教授 / 一般社団法人AIロボット協会 理事長 尾形 哲也 氏	
	技術発表 A	造船所が目指すAI・ロボティクスー現場の知識を、産業の資産にー ジャパンマリンユナイテッド株式会社 生産技術本部長 勇崎 雅朗 氏	
	技術発表 B	DXの次は、フィジカルAI。～人とロボットがともに働く現場へ～ ソフトバンクロボティクス株式会社 事業推進統括 FMDX事業推進統括部 統括部長 池田 潤 氏	
	技術発表 C	モノづくりDXの進化とフィジカルAIの融合 株式会社日立製作所 モノづくり戦略本部シニアアドバイザー 兼 インダストリアルプロダクツビジネスユニットモノづくり統括 無藤 里志 氏	
	進捗報告	造船AIロボットの開発状況と今後の展望 川崎重工業株式会社 社長直轄プロジェクト本部 ソーシャルロボット事業戦略部 特別主席 藤本 浩明 氏	
15:20	休憩		
15:30	パネルディスカッション		
16:30	閉会挨拶		
16:40	リアルネットワーキング(自由参加:情報交換会現地参加者のみ)		

お申し込みはこちら▶

特設サイトURL：<https://www.jmac.co.jp/topics/shipbuilding-ai-robotics.html>

株式会社日本能率協会コンサルティング

お問合せ：shipbuilding-ai-robotics@jmac.co.jp

